

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和 6年 2月 27日

事業所名: サンクスラボアフタースクール鹿児島

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			静と動で動きを分けられるよう区切っている	ワンフロアである為、音や声がうるさく感じてしまうときもある。静かに過ごせる場所の確保を行っています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			厚労省の定める人員配置を満たすよう配置している	今後も継続して適切な人員配置に努めます
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物自体がエレベーターなしの2階という構造の為、バリアフリー化は難しいが、階段に手すりや屋根を設置している。	建物の構造上困難な部分もありますが、今後可能な範囲で配慮するよう努めます。
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員全員参加の定期ミーティングを実施しています	今後も継続して実施します
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価表を活用し、ご指摘いただいた事項については日々改善案を検討しています	今後は保護者向けアンケートを実施し、業務改善に繋げます
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している	引き続きホームページにて公開を行います。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	本部等の社内評価は実施しています	第三者による外部評価については行っておりません。今後の検討課題とします。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に社内研修を行っており、事業所内でも必要に応じ研修報告を行っている。	社内研修の質の向上に努め、従業員の専門性を高める取り組みを継続して行っていきます
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを共有し支援に必要な事項を確認し、計画の作成に繋げている	アセスメントの質の向上に努め、子どもや保護者の変化把握を行い計画作成に活かしていきます
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用開始時に利用者様の状況を把握する為のアセスメントツールの作成を行っている。また、社内にてアセスメントツールの作成を行っている。	アセスメントの質の向上に努め、子どもや保護者の変化把握を行い計画作成に活かしていきます
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動の内容をより良いものとする為、活動前に皆で意見を出し合う時間を作っている	今後も継続して実施します
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			様々な情報から新しい活動を取り入れ実施する工夫を行っている	今後も継続して実施します
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		定期ミーティングで上がった課題に対し、その都度検討し、支援に反映している	平日と休日などで課題を分けて設定していないが、きめ細やかな支援を行う上で検討していきます
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者一人ひとりの状況に合わせた支援計画の作成に努めている	今後も継続して実施します
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ず開始前に支援内容や役割確認を職員で行い、必要に応じてシミュレーションしている	今後も継続して実施します
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼を必ず行い、振り返りや確認事項など共有し、記録に残している	今後も継続して実施します
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別の支援においてその日の児童の支援内容を把握しているものが記録を行うようにしている	今後も継続して実施します
関係機関や保護者との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			職員で定期的に支援会議を実施している	今後も継続して実施します
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインの基本活動を意識し、複数組み合わせさせた活動を企画している	ガイドラインの基本活動の中で地域交流の機会が出来ていない為、交流の機会を企画していきます
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者と担当者が参加しています	会議開催時間により担当者の参加が難しいこともある為、参加できるように調整していきます
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要時に電話連絡や送迎時に情報交換を行っている。書面にて情報を提供し、情報共有した	今後も継続して実施します
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもと主治医等と連絡体制を整えているか			○		現在、医療的ケアが必要な児童はいませんが、今後受け入れる際には関係機関との連絡体制を整えていく必要がある為、必要に応じて対策を検討します
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			情報共有および資料がある場合は資料を基にした引継ぎを行っている	今後、新たに利用となる児童には保護者の同意のうえ、情報共有に取り組めます
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		現在、当事業所より障害福祉サービス事業所等へ移行された利用児はいませんが、支援内容は日頃からまとめていますので、必要に応じて取り組んでいきます
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		今後、当事業所における課題や利用児の情報共有を行い、連携を図ります
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		今まで交流の機会が持てなかったが、今後は積極的に交流の機会を図っていきます

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		今後、積極的に参加していきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				連絡帳の活用と送迎時に事業所での様子を伝え、共通理解をもてるよう努めている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		今まではペアレントトレーニング等の支援が行えていなかった為、保護者のニーズをくみ取ったうえで、今後検討していきます
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時に説明を行うとともに、事業所内にも提示している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				話がしやすい雰囲気づくりを心掛け、電話や来所にて相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		保護者からのニーズをくみ取ったうえで、今後の検討とします
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				保護者からの意見に関して全職員に共有し、迅速に対応している。苦情受付箱も設置している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				インスタグラムや事業所が作成する新聞にて情報発信を行っている
	35	個人情報に十分注意しているか	○				書類等は鍵付きのキャビネットにて管理しており、写真掲載に関しても保護者の意向を聞き掲載するなど、情報の取り扱いに気を付けている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				伝わりやすい言葉を選び、情報伝達するようにしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		事業所の行事に地域住民が参加するような活動は行っていない。今後、検討課題として考えていきます
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				各マニュアルを作成し、必要に応じ内容の改善を行っている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				消防署と連携し、避難訓練を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				社内で虐待防止委員会を設置。定期的に研修する機会を確保している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○		現在、身体拘束の必要性のある利用児がいませんが、今後突発的に身体拘束の必要性が生じることを想定し、研修等を行います
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		契約時にアレルギーについての聞き取りをおこない、対応できるようにしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ヒヤリハット報告書を作成し、全員で周知、再発防止の検討を行っている

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)